

62  
22

海軍大軍醫林良泰先生校閲 池戸智城編輯

通俗  
便利  
人體ひと胸むね軀うの内の摸わり樣さま

附錄 人體胸軀の内部の問答

版權所有

愛蓮堂藏版



058428-000-2

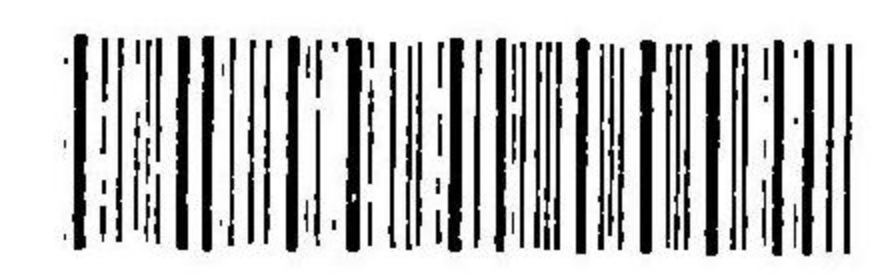
特24-383

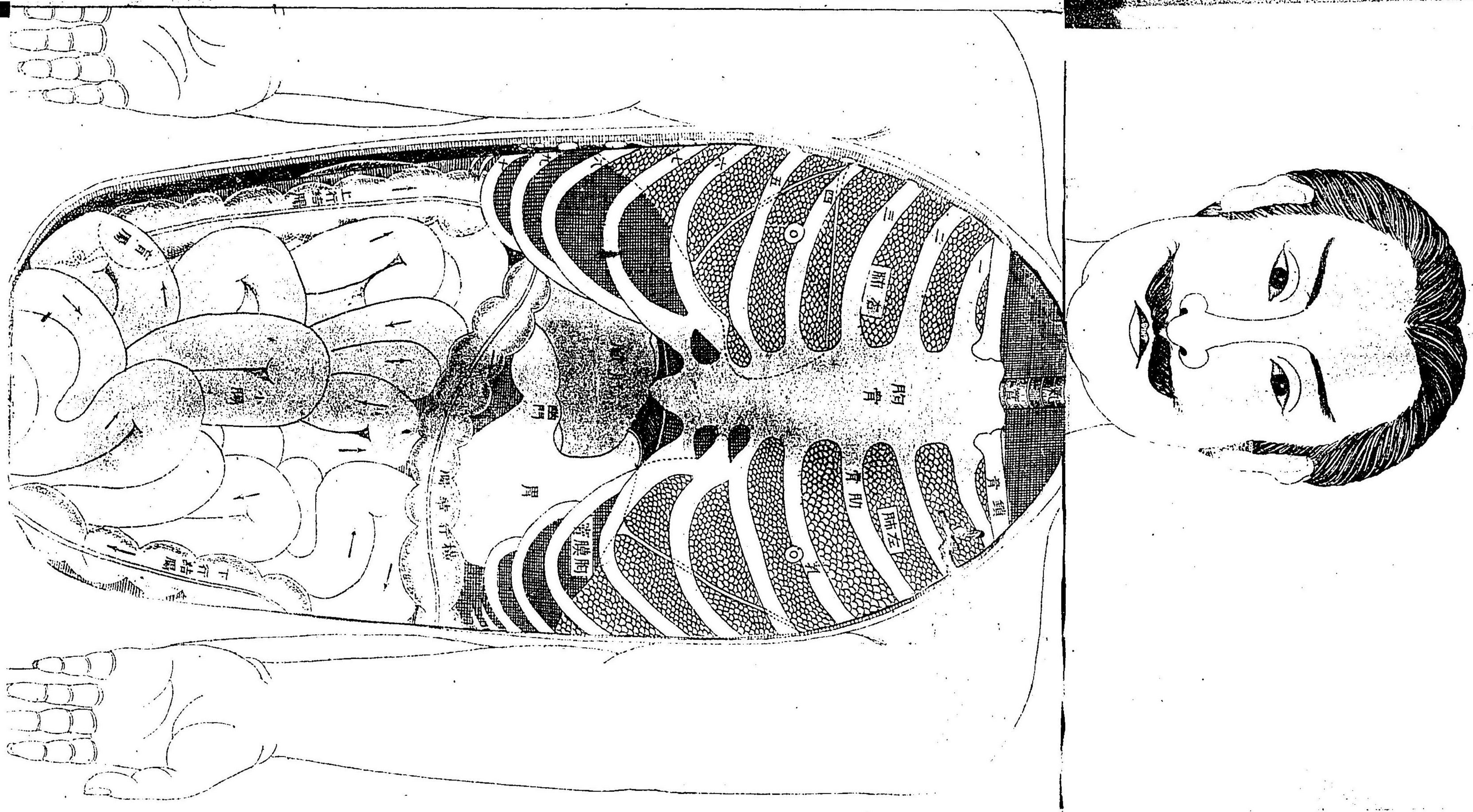
人體胸軀の内の摸樣 (通俗便利)

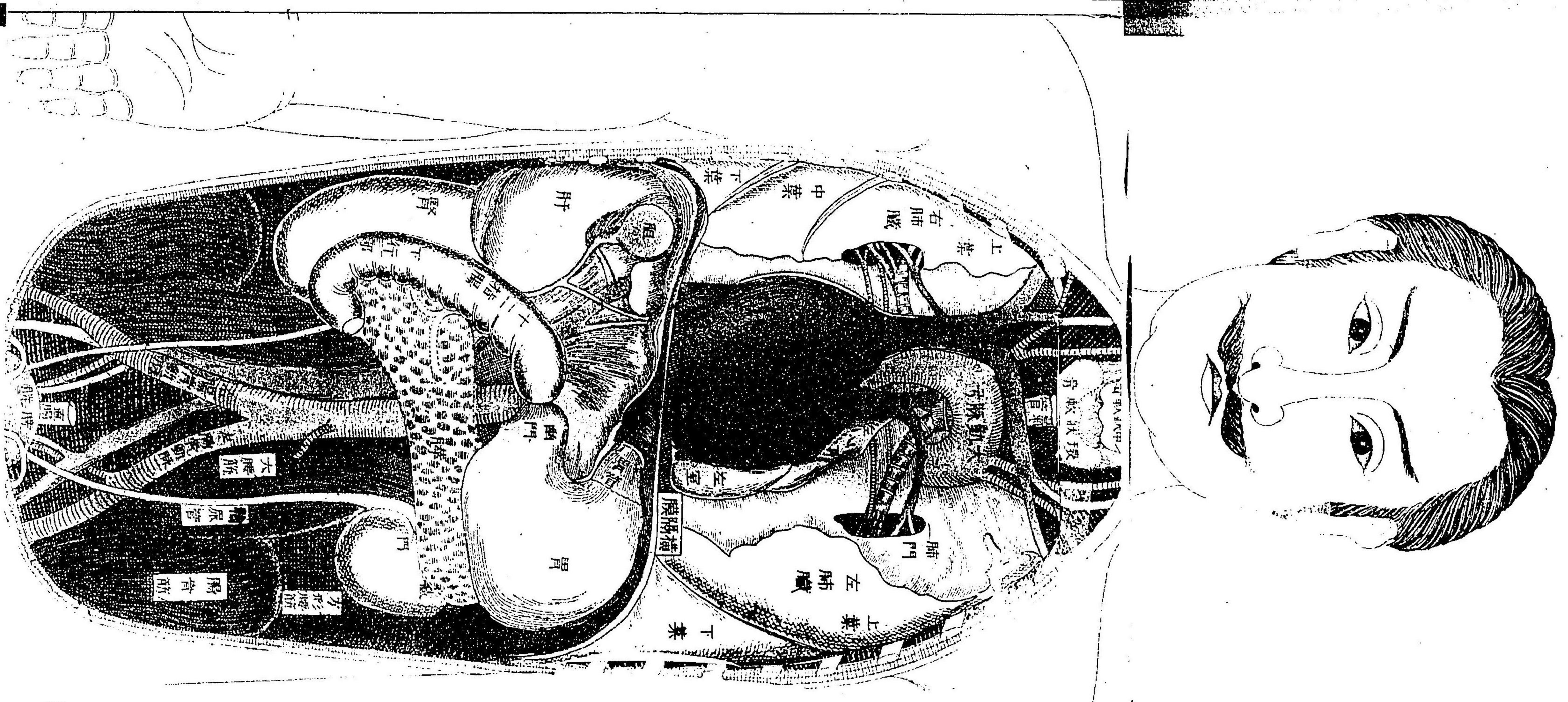
池戸 智城/編

M24

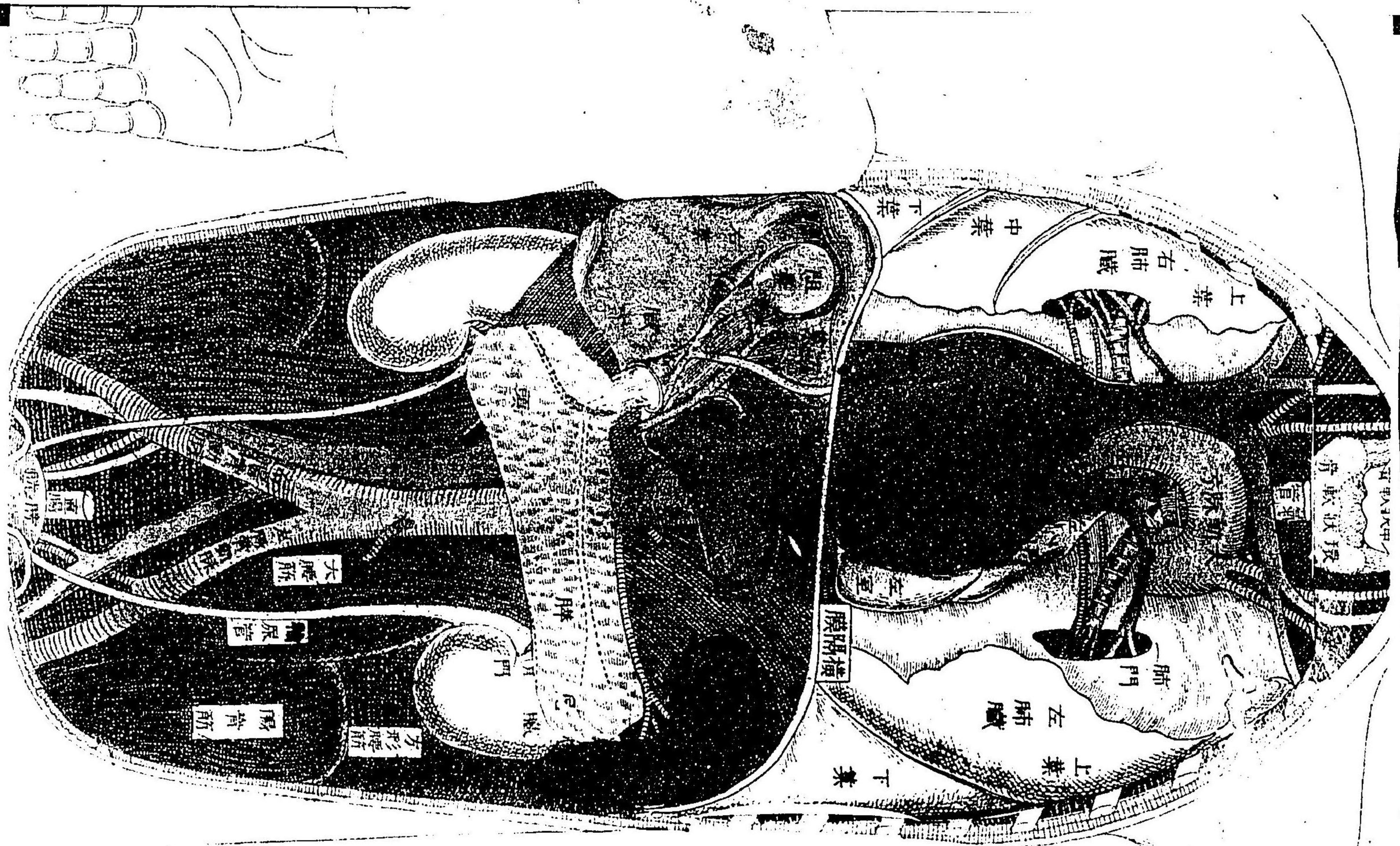
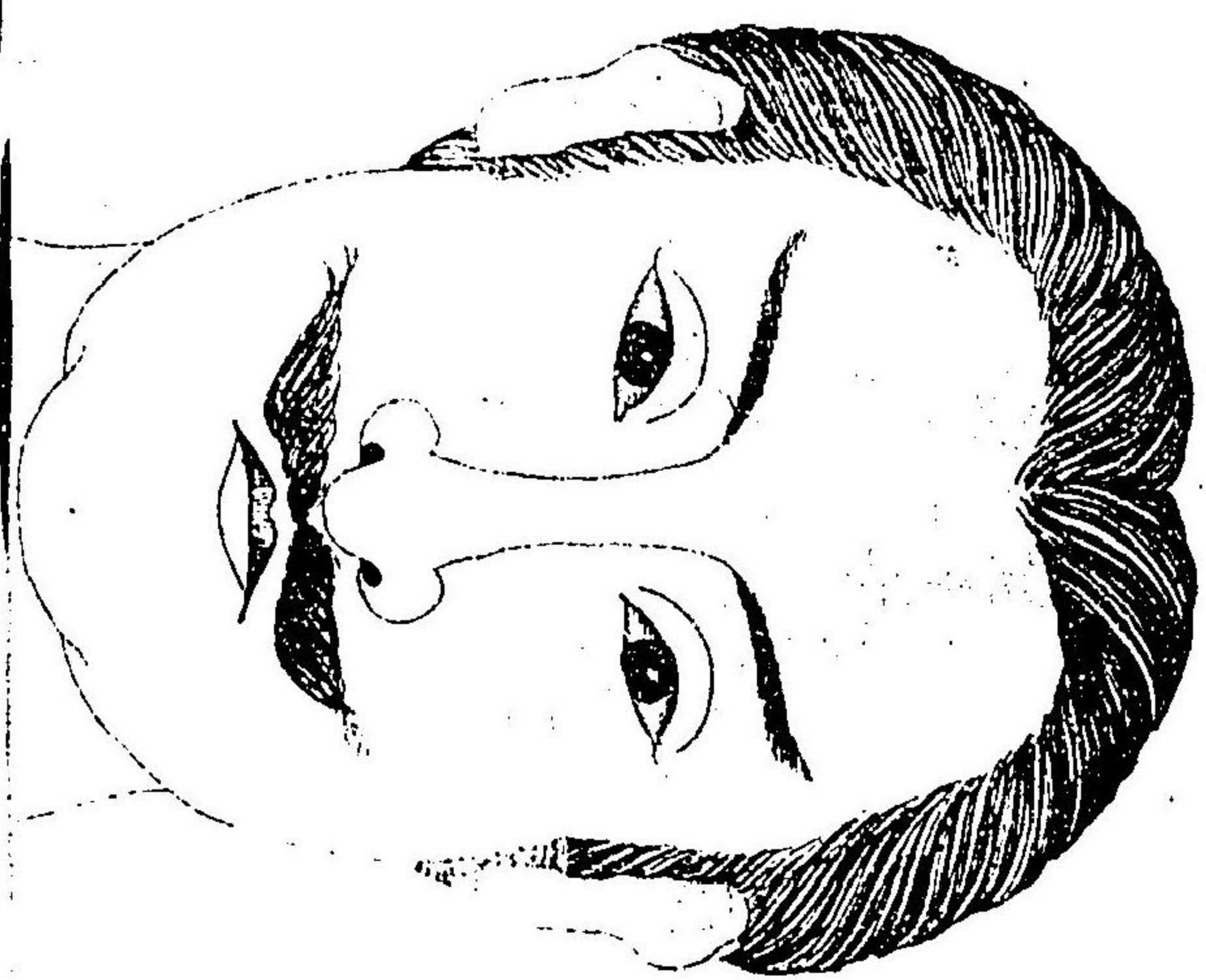
CBB-0735







41



上葉  
右肺臟

骨軟狀授  
官

肺門  
左肺臟

上葉  
下葉

中葉

膈

下葉

大腸

尿管

膀胱

腎

門

方

形

體

筋

胃

腸

門

胃

腸

門

胃

腸

門

胃

腸

門

胃

腸

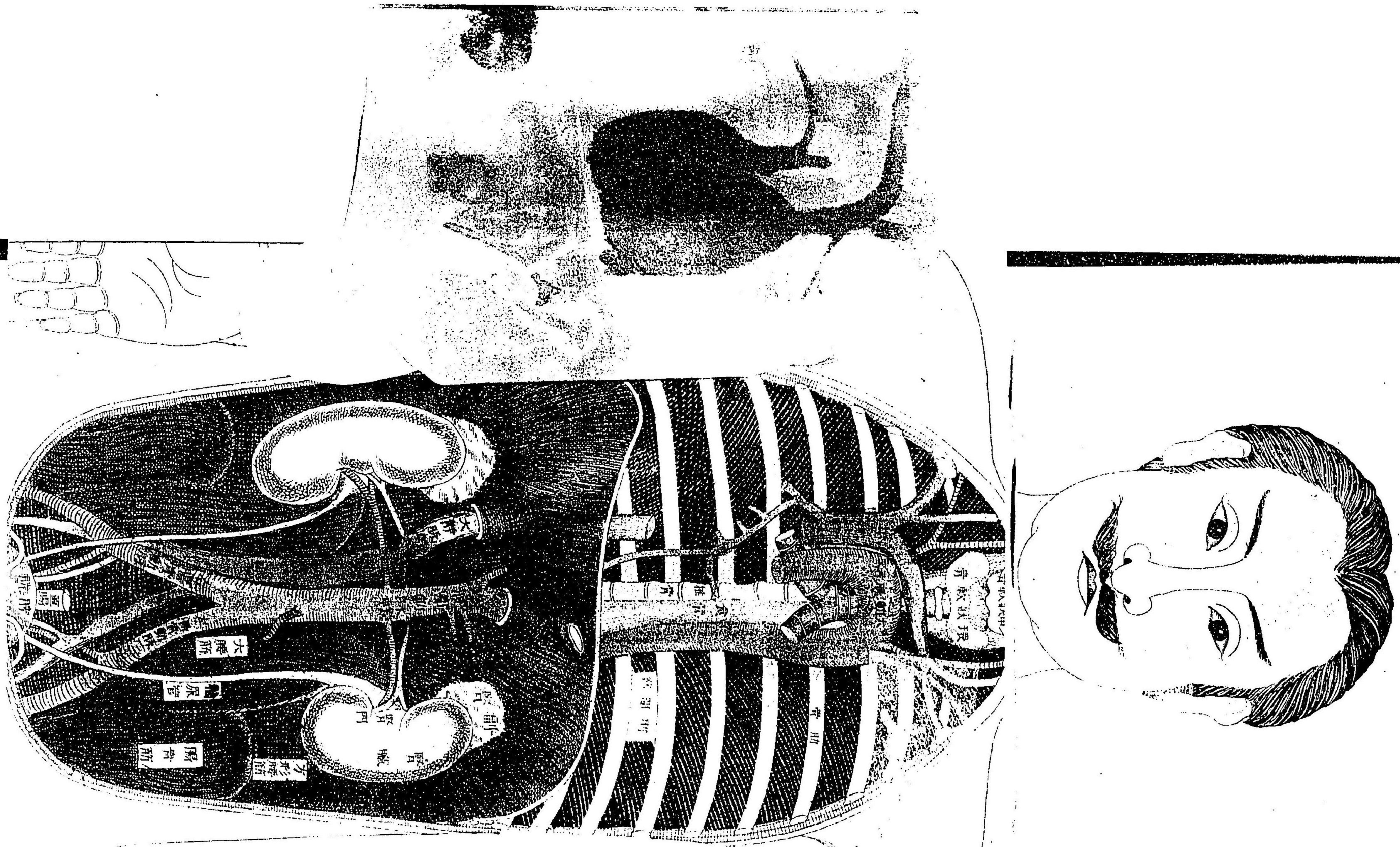
門

胃

腸

門

46



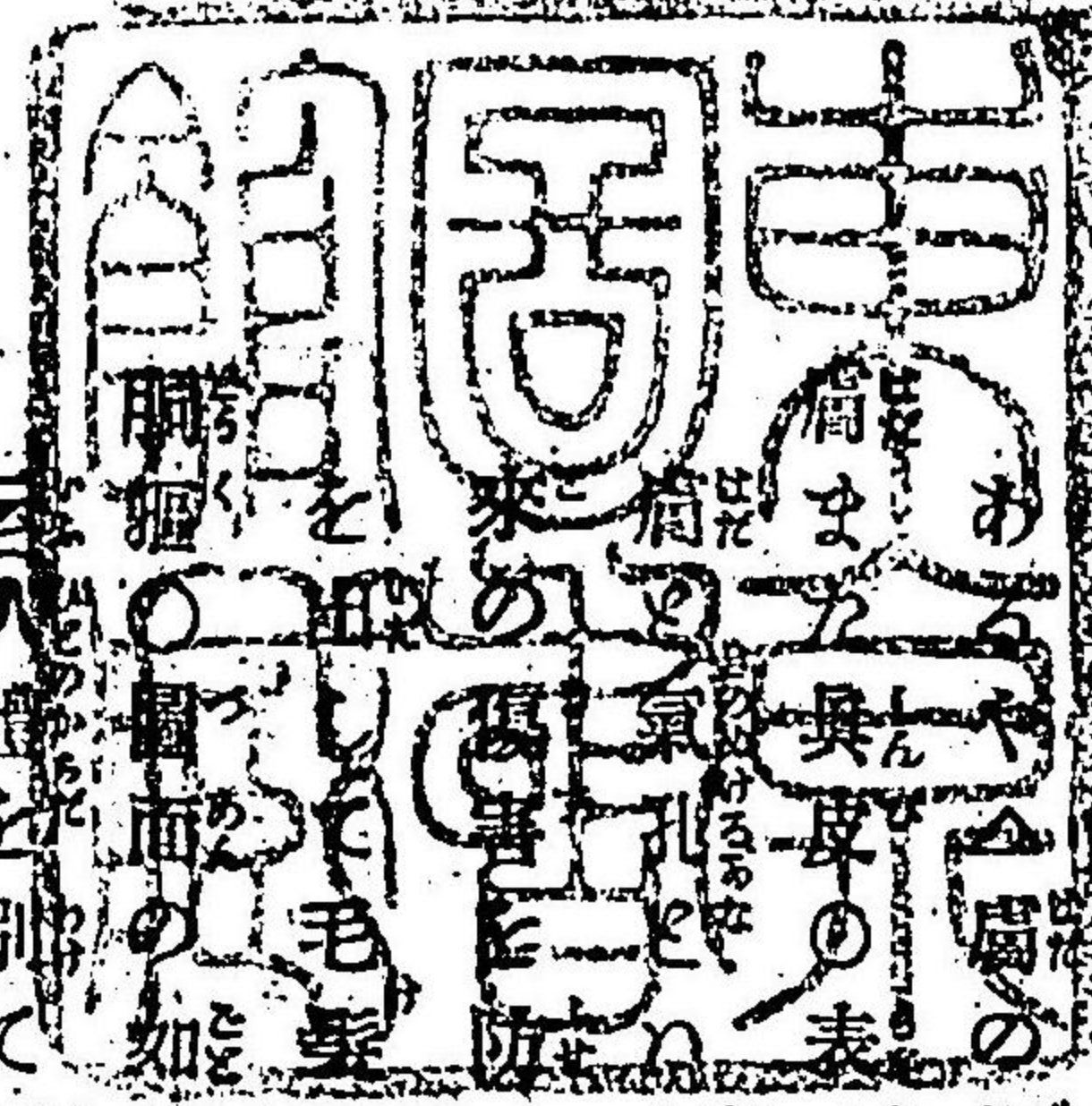
42

人體胴軀の内部の問答

問の印は○  
答の印は△

第一葉

表皮○人體の外面を包たる皮を何と云や△表皮と云ふ○何の作用



○何の作用あるや△皮膚の内部の皮に氣孔あり○  
△何の作用あるや△皮膚の内部の汗を出して體温を調節し皮膚

を何と云や△皮膚の乾燥を防なり  
△何の作用あるや△皮膚の乾燥を防なり

如何△中央より上を胸腔と云ひ下を腹腔と云なり  
肋骨○圖面の如く胴軀の外廓を造構して曲りたる骨を何と云や△

肋骨と云ひて弓形の骨二十四枚より成○何の作用あるや△その質ハ堅固にして胸部の臟腑及び諸脈等を守護するなり

胸骨○肋骨の中央にある骨を何と云や△胸骨と云○何の作用あるや△胸骨に等し

鎖骨○胸骨の上部に右と右より突出したる一字状の骨を何と云や△鎖骨と云○何の作用あるや△左右の上臂を支て胸の方へ滑ら

とらしむ

腸○胴中より下部にある長袋の曲折したる形何ぞや△腸と云この腸の名ハ諸腸の總稱にて大腸小腸の區別あり

小腸○腸の中央に曲折したる部分を何と云や△小腸と云其長凡そ二十尺餘なり○何の作用あるや△腸ハ胃より後門まで食物通行しながら其滋養分を吸収せしむる道具ゆへ全體を養ふに最緊

要なり

大腸また結腸○小腸の周圍に重囊状をなすを何と云や△大腸と云我より左手に見るを上行結腸と云ハ右手に見るを下行結腸と云ハ小腸の上方に横りたるを横行結腸と云又上行結腸の下方最大ところを盲腸と云

第二葉

十二指腸○服の中央より我右向に下り釣状をなせるハ何云や△十二指腸と云上の胃の幽門を受けて下の小腸に連續す其長と十二指腸の横徑に均しき故に此名あり○何の作用あるや△食物胃よりこの腸に來どき胆嚢より苦汁を輸してこの腸にて食物に混和して消化の準備をなす

胃腐○胴の中央より我右手に斜めに下たる大袋状をなせるハ何ぞ

肋骨と云ひて弓形の骨二十四枚より成る何の作用あるや△その質の堅固にして胸部の臟腑及び諸脈等を守護するなり

胸骨○肋骨の中央にある骨を何と云や△胸骨と云○何の作用あるや△胸骨に等し

胸骨○胸骨の上部に右と右より突出したる一字状の骨を何と云や△胸骨と云○何の作用あるや△左右の上臂を支て胸の方へ滑ら

ざらしむ

腸○胴中より下部にある長袋の曲折したる形何ぞや△腸と云○の腸の名の諸腸の總稱にて大腸小腸の區別あり

小腸○腸の中央に曲折したる部分を何と云や△小腸と云其長凡そ二十尺餘なり○何の作用あるや△腸の胃より後門まで食物通行しながら其滋養分を吸収せしむる道具ゆへ全體を養ふに最緊

要なり

大腸また結腸○小腸の周圍に重囊状をなすを何と云や△大腸と云我より左手に見るを上行結腸と云ひ右手に見るを下行結腸と云ひ小腸の上方に横りたるを横行結腸と云又上行結腸の下方最大と云

第二葉

十二指腸○服の中央より我右向に下り釣状をなせる何と云や△十二指腸と云上の胃の幽門を受けて下の小腸に連続す其長さ十二指横徑に均しき故に此名あり○何の作用あるや△食物胃よりこの腸に來とさ胆嚢より苦汁を輸してこの腸にて食物に混和して消化の準備をなす

胃腐○胴の中央より我右手に斜めに下たる大袋状をなせる何と



や△胃腑と云上の胃管の食管を受けて下の幽門より十二指腸に接す○何の作用あるや△食物食管よりこの處に來れば胃膜自然に伸縮して食物を揉み酸液を加て弱にす

### 第三葉

肝臟○洞の中央我左手に胃と向合たるは何ぞや△肝臟と云表面の

左右二葉より成とも裏面は四葉より成然れども圖中に右葉及び方葉を示すのみ

胆腑○肝の右葉と方葉の間にある梨形の囊狀物の何ぞや△胆腑と

云○何の作用あるや△肝臟にて製造する胆汁を貯蓄し食物消化の時輸胆管より十二指腸に輸る

脾臟○肝臟の下より我右手の方に横りたる何ぞや△脾臟と云○何の作用あるや△一種液を造りて十二指腸に排出す

脾臟○脾の上部より我右手の方へ斜に位せる何ぞや△脾臟と云横隔膜○胴軀の中央に横りたる曲線を何と云や△横隔膜と云この膜にて胸腔と腹腔とを中隔す○何の作用あるや△膜面に大動脈孔と下大靜脈孔と食管の孔ありて常に呼吸を掌る

心臟○胸の中央に拳に似たる物の何ぞや△心臟なり○何の作用あるや△この臟の右房は大靜脈の古血(全體を一周したる血の事)を受けて右室に輸り右室の古血を受けて肺動脈より肺臟の中に輸る故にこの右房と右室との古血を心臟より肺臟に輸る作用をなし又左房は肺臟より新血(古血肺臟に入て鮮血となるを云)を受けて左室に輸り左室の新血を受けて大動脈より之を全體に輸る故にこの左房と左室の肺臟より還りたる新血を全體に輸るの作用をなすまた大動脈の上部に曲たる部分を大動脈弓と云

六  
氣管○大動脈弓の直下に出で左右に別れ兩方の肺門に入たるは何ぞや△氣管と云○何の作用あるや△空氣出入の管なり上部喉より食管の前に沿て下り左右の肺に入て氣管支となる  
肺臟○心臓の左右に位する物の何ぞや△肺臟と云我右手の二葉また左手の三葉より成る○何の作用あるや△不潔なる血を新鮮なる血とす

#### 第四葉

食管○氣管の後より椎骨の前に沿て直下する何ぞや△食管と云また食道共云○何の作用あるや△食物の咽より胃に達する管也  
椎骨また脊骨○食管の後より直下せる竹狀の幹を何と云や△脊骨また椎骨と云二十四枚の骨を積立たるものなり○何の作用あるや△全體骨格の柱礎にして最も緊用なり

腎臟○腹の左右に蠶豆の狀をなせる何ぞや△腎臟なり○何の作用あるや△尿を製造する道具なり  
尿管○兩方の腎臟より斜に下たる細管の何ぞや△輸尿管と云○何の作用あるや△尿水を膀胱へ輸る道具なり  
腹部動脈幹○兩方の腎の間に二幹ある我右手の何ぞや△腹部動脈幹と云○何の作用あるや△肺より心に還りたる血を腹内臓器及下肢に輸る  
大靜脈幹○動脈幹の左手の幹を何と云や△大靜脈幹と云○何の作用あるや△全體を一周したる古血を肺に輸る道具なり  
膀胱○腹の最も下の中央に半圓形をなす何ぞや△膀胱と云て實質の卵狀なり○何の作用あるや△尿水を蓄袋なり  
直腸○膀胱の後に直立せる何ぞや△直腸と云て大腸の尾なり  
人體胴軀の内部の問答(終)

2N-177

明治二十四年十二月十日印刷  
明治二十四年十二月十一日出版

編輯者兼發行者

定價金十五錢

長野縣平民

池戶 寄留  
東京芝區田村町八番地

吉田安太郎

東京本郷區春木町一丁目四十一番地

明教活版所

東京本郷區三間堀二丁目一番地

愛蓮堂

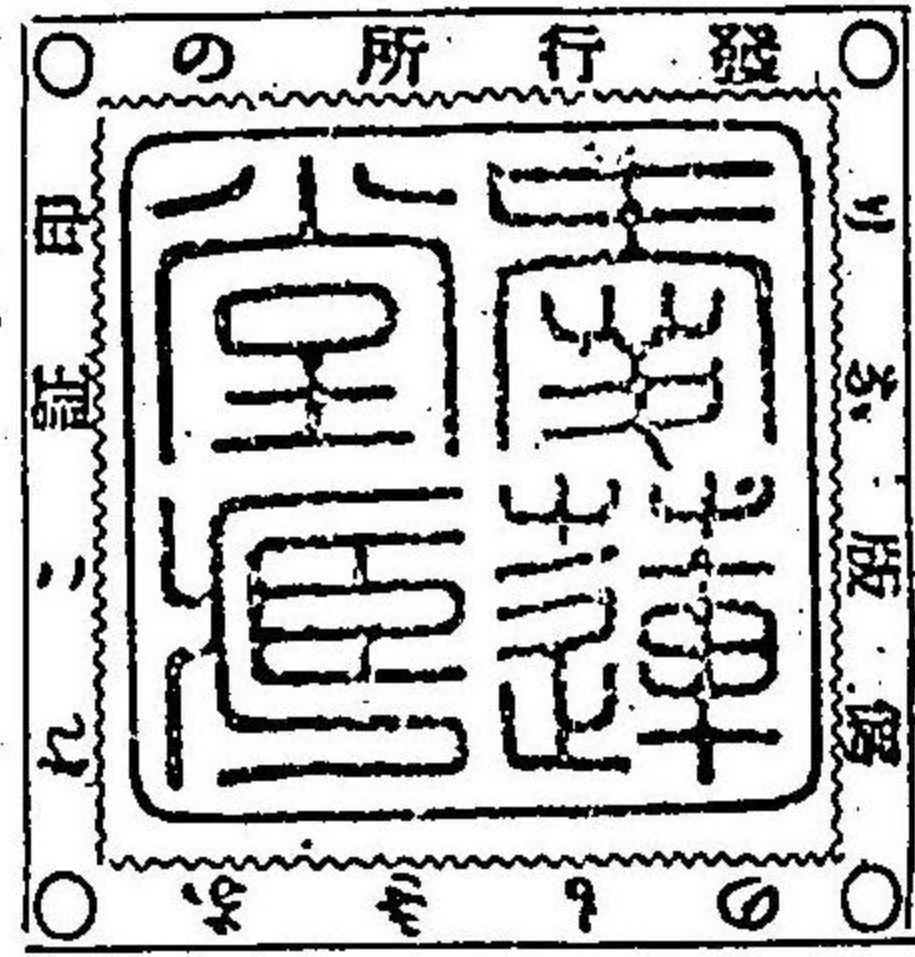
長野縣信濃國上水內郡柏原村二百九十四番地

大賣捌所

東京本郷切通坂町南  
長野縣長野町  
東京芝區田村町八番地  
地長谷川史計

同 同 同  
西澤喜太郎  
衛生堂

版權所有



印刷者

印刷所

發行所

大賣捌所

同 同 同